



文化学園リポジトリ

Academic Repository of BUNKA GAKUEN

服飾文化共同研究拠点／文化ファッション研究機構

Joint Research Center for Fashion and Clothing Culture / Bunka Fashion Research Institute

文化学園大学

Bunka Gakuen University

文化服装学院

Bunka Fashion College

文化ファッション大学院大学

Bunka Fashion Graduate University

文化外国語専門学校

Bunka Institute of Language

Title	JF Can-do を用いた『文化初級日本語 I・II テキスト改訂版』の分析と課題
Author(s)	白岩 麻奈, 平川 奈津子, 浅野目 志乃
Citation	文化外国語専門学校紀要 33 (2021-02) pp. 1-29
Issue Date	2021-02
URL	http://hdl.handle.net/10457/00003044
Rights	

JF Can-do を用いた 『文化初級日本語 I・II テキスト改訂版』 の分析と課題

日本語科 専任教授 白岩 麻奈

日本語科 専任講師 平川奈津子

日本語科 専任講師 浅野目志乃

・要旨

独立行政法人国際交流基金が公開している JF 日本語教育スタンダードをもとに『文化初級日本語 I・II テキスト改訂版』（文化外国語専門学校）で学んだ学習者がどのような JF Can-do を達成できるか調査した。また、JF Can-do にはないが、この教科書を使って学ぶことで達成できる独自の Can-do についても考え、それらを合わせ「文化初級日本語 I・II Can-do 一覧」を作成した。その結果、この教科書は JF 日本語教育スタンダードの A1 から A2 前半レベルに相当すること、「受容」「産出」「やりとり」の中では「やりとり」が多いことなどがわかった。また、Can-do を意識し発展的な練習を取り入れることの必要性や様々な課題が明らかになった。

・キーワード

『文化初級日本語 I・II テキスト改訂版』、JF 日本語教育スタンダード、JF Can-do、独自の Can-do、コミュニケーション言語活動、コミュニケーション言語能力

1. 経緯・目的

独立行政法人国際交流基金（以下、基金）は、ヨーロッパでの言語教育や学習の場で共有され、基盤とされている CEFR（Common European Framework of Reference for Languages : Learning, teaching, assessment）をもとに JF 日本語教育スタンダード（以下、JF スタンダード）を作成し、2010 年に公開した。JF スタンダードは「相互理解のための日本語」を理念として開発され、これを用いることにより日本語の熟達度を CEFR に準じて知ることができる（国際交流基金, 2017）。JF スタンダードは「日本語の教え方・学び方・評価のし方を考えるためのツール」（国際交流基金, 2020, p.1）であると言える。

JF スタンダードで提供される Can-do には、CEFR が提供する Can-do（以下、CEFR Can-do）と基金が独自に作成した Can-do（以下、JF Can-do）がある。基金は、CEFR Can-do は汎言語的な記述で抽象性や包括性が高いため、日本語の使用場面を想定し、日本語での具体的な言語活動を例示した Can-do として、JF Can-do を作成したとしている（国際交流基金, 2017）。

Can-do というのは、言語の熟達度を「～できる」という形式で示した文で、「言語の熟達

の、ある段階でできる言語活動や持っている言語能力の例を示し、目安とするもの」(国際交流基金, 2017, p.14) である。この Can-do を参照することによって、教師は学習目標を設定したり、学習成果を評価しこれまでの教育活動を振り返ったりすることができ、学習者自身も熟達度を確認したり、次の目標を設定したりすることができる。

一方で、基金は既存の Can-do だけでは目標設定や評価をするには不十分で、「各現場で、実際の教育活動を行うために必要な言語材料(語彙や文法項目などのリスト)を準備する必要があり」、「専門知識や学習能力など、現時点では Can-do で記述されていない能力などについても、各教育現場の学習者のニーズや目的に応じて検討を行うことが必要となる」(国際交流基金, 2017, p.18) としている。

さらに、既存の Can-do は、あくまでも言語活動と言語能力の例示であり、全てを網羅したものではないため、それらを参考にしながら、各教育現場で自分の現場に合った独自の Can-do を作る必要があるとされ、こうした各現場で新しく独自に作成した Can-do は MY Can-do と呼ばれる(国際交流基金, 2017)。近年このような JF Can-do や MY Can-do にもとづいた教科書や教材も出版されている。

本校の初級の授業では、2013年に出版された本校オリジナルの教科書である『文化初級日本語 I・II テキスト改訂版』(以下、『文化初級日本語 I・II』)をメインテキストとして使用している。この『文化初級日本語 I・II』は初めて日本語を学ぶ学習者のための教科書であり、1987年出版の『文化初級日本語 I・II』をもとに2000年に改訂された『新文化初級日本語 I・II』をさらに改訂し、出版したものである。改訂にあたり、初級の学習者にとって必要な日本語は何かを念頭に置き、学習項目が選定し直され、提出順が見直された。そして、学習した日本語が生活の中で実際に使えるようになることを目指し、本文、文型の例文、練習が作成された(文化外国語専門学校, 2013)。さらに、学習者が自分自身のことを話せるようになるように練習を増やし、クラスメートと話す練習や、課のトピックに関連したことについて作文を書き、発表をするなど、様々な形態の教育活動が新たに取り入れられている(国頭・白岩・八田・廣田・平川, 2015)。

しかし、この『文化初級日本語 I・II』は、CEFR や JF スタンドードにもとづいたシラバスで作成されたものではないため、『文化初級日本語 I・II』で学習した学習者のレベルを客観的に示すことができなかった。また、この教科書で学習することにより、どのような Can-do が達成でき、どのような Can-do が不足しているのかこれまで明示することができなかった。本調査はこうした点を明らかにし、それによってこれまでの教育活動を振り返り、捉え直し、今後の教育活動をより充実させることを目的としている。

また、この教科書独自の Can-do についても検証し、この教科書の持つ Can-do を客観的に提示するための試みとしたい。

2. 分析方法

前述したように JF スタンドードで提供されている Can-do には、CEFR Can-do と JF Can-do があるが、本調査では、日本語での言語活動や場面がより具体的でイメージしやす

い JF Can-do を用いることとし、「JF Can-do 一覧 カテゴリーごと (2019 年 7 月 31 日更新、国際交流基金 日本語国際センター「みんなの Can-do サイト)」(以下、「JF Can-do 一覧」)を使用した。また、「JF Can-do 一覧」には A1、A2、B1、B2 の 4 つのレベルがあるが、本調査では「基礎段階の言語使用者 (Basic User)」とされる A1、A2 レベルの項目を調査の対象とし、以下の手順で分析した。

まずは「JF Can-do 一覧」を、『文化初級日本語 I・II』と照らし合わせ、達成できると思われる JF Can-do の有無を調べ、該当する場合は何課のどの本文、文型、練習を学習すればそれが達成されるかを分析し、リストを作成した。そして、そのリストをもとに、『文化初級日本語 I・II』が JF Can-do の A1、A2 レベルの項目をどの程度カバーしているのか分析した。また、JF Can-do では言語活動を読む・聞くなどの活動を表す「受容活動」(以下、「受容」)、一人で長く話す・書く活動を表す「産出活動」(以下、「産出」)、会話や手紙のやりとりを表す「やりとり」の大きく 3 つに分類しているが、これらをどの程度『文化初級日本語 I・II』がカバーしているか分析した。さらに、JF Can-do には言語活動の場面や内容によって「自分と家族」「住まいと住環境」「自由時間と娯楽」「生活と人生」など、15 のトピックが付与されているため、トピック別の分析も行った。

そして、そのリストを『文化初級日本語 I・II』の課の順に並べ替え、どの課にどのような JF Can-do があるかを調査し、この教科書が CEFR 及び JF スタンドアードのどのレベルに相当するのかを分析した。

最後に、JF Can-do には記載はないが、『文化初級日本語 I・II』を使って学ぶことで達成できると考えられる独自の Can-do を課ごとに調査し、リストに加え、資料 1 「文化初級日本語 I・II Can-do 一覧」を作成した。

3. 結果と分析

3-1. 『文化初級日本語 I・II』を JF Can-do A1、A2 レベルから分析した結果

まず、『文化初級日本語 I・II』には、どのような JF Can-do があるか分析した結果を述べる。

3-1-1. A1、A2 レベルの割合

『文化初級日本語 I・II』の中で、JF Can-do の A1、A2 レベルをどのくらいカバーしているのかをまとめたのが以下の表 1 である。

表 1 『文化初級日本語 I・II』における JF Can-do の項目数

	JF Can-do	『文化初級日本語 I・II』		
		テキスト I	テキスト II	合計
A1	135	79	8	87 (64%)
A2	191	27	17	44 (23%)

その割合は A1 が 64%、A2 が 23% であり、A2 のカバー率はかなり低いということがわかった。JF Can-do のもとになっている CEFR の A2 というレベルについて、塩澤・石司・島田(2010, p.24) は、「A1 では簡単な会話しかできなかったのが、A2 では生活の中で遭遇する課題を達成でき、A2+ では会話に参加したり一人で話し続けたりと長い発話ができるようになる。」と説明している。CEFR の A2 というレベルはかなり幅があり、複雑な会話や一人で自発的に話し続けられるようなレベルまで含まれているということだが、これは JF Can-do においても同様であると考えられる。しかし、『文化初級日本語 I・II』には一人で長く発話を続けられるような練習は少ない。このようなことから、『文化初級日本語 I・II』では、まだ A2+ レベル、すなわち A2 後半レベルの Can-do を達成するのは難しいと推測される。『文化初級日本語 I・II』は、CEFR 及び JF スタンドアートの A1 から A2 前半レベルであると言えるだろう。

『文化初級日本語 I・II』はテキスト I とテキスト II の 2 冊に分かれている。テキスト別に見ると、テキスト I は、A1 が 79 項目、A2 が 27 項目、テキスト II は A1 が 8 項目、A2 が 17 項目であった（詳細は p. 16、資料 1 を参照）。テキスト II には該当する JF Can-do が少なく、『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do が多い。独自の Can-do に関しては 3-2-2 で述べる。

一方、テキスト I にも、ある程度まとまった長さの会話を想定した練習をすれば、A2 レベルの Can-do が達成できるものがあることがわかった。第 6 課練習 g（友達と互いの好きな物について自由に話す練習）や第 11 課自己紹介、第 13 課インタビューの「チャレンジ！」などである。また、テキスト II では、A1 よりも A2 レベルの項目が多い。テキスト II では文型の代入練習だけではなく、自分自身のことを表現したりクラスメートのお話を聞いて理解したりし、ある程度の長さの会話をやる練習が増える。例えば、学習者が文型の意味を十分理解し自分の表現として定着させ、クラスメートと互いに興味をもって話し、理解し合うことを目標とした「友達と話そう」など、テキスト I に比べ練習の種類が多いためだと推測できる。

3-1-2. カテゴリー別の分析

JF Can-do は、言語活動が「経験や物語を語る」や「テレビや映画を見る」などの細かいカテゴリーに分類されている。そのカテゴリー別に『文化初級日本語 I・II』にどのような Can-do があるのか見ていく。

表2 『文化初級日本語 I・II』におけるカテゴリー別 JF Can-do の項目数

	カテゴリー	「JF Can-do 一覧」の総数	『文化初級日本語 I・II』にあると考えられる Can-do 数	カバー率
受容	音声メディアを聞く A2	2	0	0%
	指示やアナウンスを聞く A1	6	5	83%
	指示やアナウンスを聞く A2	5	0	0%
	情報や要点を読み取る A1	4	0	0%
	情報や要点を読み取る A2	10	0	0%
	説明を読む A1	1	0	0%
	説明を読む A2	1	0	0%
	手紙やメールを読む A1	4	1	25%
	手紙やメールを読む A2	4	0	0%
	テレビや映画を見る A2	4	0	0%
	必要な情報を探し出す A1	11	6	55%
	必要な情報を探し出す A2	8	1	13%
産出	経験や物語を語る A1	7	4	57%
	経験や物語を語る A2	23	9	39%
	講演やプレゼンテーションをする A1	4	0	0%
	講演やプレゼンテーションをする A2	11	2	18%
	作文を書く A1	2	1	50%
	作文を書く A2	10	2	20%
やりとり	インタビューする／受ける A1	4	4	100%
	インタビューする／受ける A2	5	2	40%
	インフォーマルな場面でやりとりをする A2	14	9	64%
	共同作業中にやりとりをする A1	10	8	80%
	共同作業中にやりとりをする A2	13	2	15%
	社交的なやりとりをする A1	22	18	82%
	社交的なやりとりをする A2	21	7	33%
	情報交換する A1	30	23	77%
	情報交換する A2	29	7	24%
	申請書や伝言を書く A1	7	5	71%
	申請書や伝言を書く A2	5	0	0%
	手紙やメールのやりとりをする A1	3	0	0%
	手紙やメールのやりとりをする A2	5	0	0%
	フォーマルな場面で議論する A2	5	0	0%
	店や公共機関でやりとりをする A1	20	8	40%
店や公共機関でやりとりをする A2	16	4	25%	

「受容」は『文化初級日本語 I・II』にはほとんどない。『文化初級日本語 I・II』の前身である『新文化初級日本語 I・II』には『楽しく聞こう I・II』『楽しく読もう I・II』『楽しく話そう』（文化外国語専門学校）という技能別副教材が別にあったためであると思われる。現在も、聴解や読解などの技能は、今も出版されている『楽しく聞こう I・II』や本校自主作成の読解教材など、教科書とは別の教材を使って練習している。そのため、『文化初級日本語 I・II』には「受容」に当たる練習が少ない。特に、「音声メディアを聞く」「情報や要点を読み取る」「説明を読む」「テレビや映画を見る」は全くない。「指示やアナウンスを聞く」は、その場でゆっくりとはっきりと話されれば聞いて理解できるという A1 レベルの項目は達成できると思われるが、店内や駅での放送を理解するような A2 レベルの項目を達成するような練習はない。「必要な情報を探し出す」というカテゴリーでは、単語レベルで読み取ればよい A1 レベルの JF Can-do は達成できるが、新聞、他の人が書いた文、説明書き、掲示物などを読むような活動は教科書内にはないため、A2 レベルの JF Can-do は『文化初級日本語 I・II』だけで達成することは難しいと考えられる。

「産出」は、学習者が自分自身の「経験や物語を語る」練習はあるものの、「講演やプレゼンテーションをする」はほとんどない。例えば、3-1-1. で例として挙げた第 11 課の自己紹介をする「チャレンジ！」は「産出」の「経験や物語を語る」にあたる。「講演やプレゼンテーションをする」という項目の A1 レベルには、送別会や結婚式などで簡単な定型表現で挨拶をする、読み上げるなどの JF Can-do がある。A2 レベルでは、簡単なスピーチをする、自分の国について簡単な内容を発表する、台本をときどき見てアナウンスするなどの JF Can-do がある。このようなフォーマルな場で聴衆の前に立って話すような場面は『文化初級日本語 I・II』では取り上げられていない。

「やりとり」の中では、A1 レベルの「情報交換する」と「社交的なやりとりをする」が多い。『文化初級日本語 I・II』は、友人との会話の中で、自分のことについて話したり互いに質問し合ったりする項目が多いことがわかる。本文や例文の場面として友人同士の会話が多く、また練習の中にも「☆友達と話しましょう」のようにクラスメートと互いに質問し合う練習が多い。全くなかったのは、A2 レベル「申請書や伝言を書く」、A1、A2 レベル「手紙やメールのやりとりをする」という文字ベースのやりとりと、A2 レベル「フォーマルな場面で議論する」という項目である。「フォーマルな場面で議論する」は、「みんなの Can-do サイト」の「Can-do を探す」というページで CEFR を基準に A2 レベルを検索すると、3 項目のうち 2 項目が「A2.2」レベルであった。「A2.2」というのは、3-1-1. で言及した A2+ に該当し、『文化初級日本語 I・II』の範囲では達成が難しい項目であると考えられる。それ以外のカテゴリーでは、A2 レベルの「インタビューする／受ける」「共同作業中にやりとりをする」「店や公共機関でやりとりをする」などが少ないことがわかる。

3-1-3. トピック別の分析

JF Can-do には言語活動の場面がより具体的にイメージできるように 15 のトピックが付与されている。15 あるトピックのうち、「社会」と「科学技術」は A1、A2 レベルにはない

ため、それ以外のトピックで比較していく。

表3 『文化初級日本語 I・II』におけるトピック別 JF Can-do の項目数

	JF Can-do A1	JF Can-do A2	合計	『文化初級 日本語 I・II』 A1	『文化初級 日本語 I・II』 A2	合計
仕事と職業	11	29	40	7	3	10
旅行と交通	18	21	39	8	11	19
自由時間と娯楽	13	24	37	11	6	17
食生活	17	16	33	12	2	14
買い物	13	16	29	11	3	14
言語と文化	7	20	27	5	4	9
人との関係	16	10	26	6	3	9
生活と人生	11	9	20	9	2	11
自分と家族	7	12	19	4	5	9
学校と教育	7	10	17	4	0	4
住まいと住環境	11	4	15	6	0	6
健康	3	10	13	3	3	6
自然と環境	1	11	12	1	1	2

トピック別では、『文化初級日本語 I・II』には「旅行と交通」「自由時間と娯楽」「食生活」「買い物」などが多く、JF Can-do に比べ、「自然と環境」「学校と教育」が極端に少ない。また、JF Can-do では「仕事と職業」の項目数が多いが、学習対象が進学を目指している学習者で、登場人物が日本語学校の学習者である『文化初級日本語 I・II』では、トピックや例文の中に仕事をしている場面はあまりない。注目すべきは「自然と環境」の中でも JF Can-do No.492「友人や近所の人に挨拶をするとき、その日の気温や天気について、短い簡単な言葉で話すことができる。」や JF Can-do No.493「離れて住んでいる友人と電話で話すとき、はじめに最近の気候について短い簡単な言葉で話すことができる。」など、「社交的なやりとりをする」というカテゴリーに属している項目が『文化初級日本語 I・II』にはないことである。確かに日本では挨拶や会話の導入としてその日の天気などを話すことが多い。しかし、『文化初級日本語 I・II』にそのような場面は出てこない。これについては 4-1. で述べる。

3-2. 『文化初級日本語 I・II』 課別の Can-do

次に、『文化初級日本語 I・II』の各課にはどのような JF Can-do があるのか、『文化初級日本語 I・II』の課の順に並べ替えた資料 1 (p. 16) をもとに分析していく。

3-2-1. 『文化初級日本語 I・II』各課にある JF Can-do

テキスト I は圧倒的に A1 レベルの JF Can-do が多いが、テキスト I の中にも A2 レベルの JF Can-do がある。先ほど 3-1-1. で挙げた第 6 課練習 g が初めて出てくる A2 レベルの JF Can-do である。第 8 課では形容詞の過去形を学習した時点で、週末の外出などについて感想を述べる練習 a、b がある。この練習自体は代入練習であるが、この後に学習者たち自身のことも話す練習を続ければ、JF Can-do No.465 「旅行やツアーに参加した後で、どんなことをしたのか、何をみたのかなど、感想とともに短い簡単な言葉で友人に語ることができる。」という A2 レベルの JF Can-do が達成できる。第 10 課以降では、ほぼ全ての課で、A2 レベル相当の JF Can-do が含まれる。特に、第 11 課「チャレンジ!」の自己紹介、第 13 課「チャレンジ!」のインタビュー発表、第 18 課「チャレンジ!」の友人を誘う会話などは、発表原稿を準備したり実際のイベントなどを探してきてクラスメートを誘ったりするという実践的な練習である。

テキスト II に入ると、さらに A2 レベルであると考えられる練習が増えていく。例えば、第 19 課の練習 f は、デパートの中などで売り場がどこにあるかを質問し、道順の説明を聞き取る練習である。これは JF Can-do No.325 「デパートなどの店員に、買いたい物の売り場がどこにあるかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。」に相当する。第 30 課練習 g の「すみませんが、～していただけませんか。」という表現の練習では、敬語を使って丁寧に依頼をする練習をする。目上の人や知らない人に依頼するという場面で、仕事中にはないが、JF Can-do No.510 「出張先のオフィスなどで使いたいものや借りたいものがあるとき、短い簡単な言葉で借りてもいいか質問したり、質問に対応したりすることができる。」という項目は、友人や親しい同僚ではない人に丁寧な表現でお願いするということだと考え、この JF Can-do が達成できるとした。

また、『文化初級日本語 I・II』は口頭での練習が中心で本文も会話が多いが、中には会話以外の本文や練習もあり、「受容」や「産出」の JF Can-do もある。第 12 課本文 1 には料理のレシピがあり、A1 レベル、「受容」の JF Can-do No.170 「辞書を使うことができれば、料理のレシピにある材料のリストの部分を見て、何がどのぐらい必要か、理解することができる。」が達成できる。第 11 課は、本文 1 がクラスメートの前に立って自己紹介をしている場面、本文 2 が自分の家族について紹介する作文で、学習者はこれらの本文を参考に「チャレンジ!」で自分の自己紹介文を書き、クラスメートの前で自己紹介をする。この一連の流れの中で JF Can-do No.456 「初めて会った人の前で自己紹介するとき、自分や家族がどこに住んでいるか、何をしているかなど、短い簡単な言葉で話すことができる。」や JF Can-do No.67 「自分自身や家族、仕事、趣味など、基本的なことについての自己紹介文を短い簡単な文でブログなどに書くことができる。」という「産出」の JF Can-do が達成できると考えた。

『文化初級日本語 I・II』には、繰り返し出てくる場面もある。3-1-2. で述べたように、自分自身のことについて語るものが多いほか、感想を述べる、友人などを誘って約束するというようなものも多い。例えば、第 8 課では週末に参加したイベントなどの感想を簡単

に話し、第14課では日記に感想を書く。また、第18課は誘いの表現を学習する課であるが、それ以降も第20課文型7では誘いを断る、第24課文型5では友人をカジュアルな表現で誘う練習をする。このように繰り返し出てくる場面ではそれぞれの Can-do を意識し、段階的な目標を設定する必要があるだろう。

3-2-2. 『文化初級日本語 I・II』各課にある独自の Can-do

『文化初級日本語 I・II』を見ると、「JF Can-do 一覧」の中には該当する Can-do はないが、この教科書の対象者が日本での進学を希望する留学生であることから生まれた独自の Can-do もあるとわかる。資料1のうち、赤字で書かれ、JF Can-do の No. やカテゴリ、第1トピックがない項目は、我々がその課で達成できると考えた『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do である。特にテキストIIの後半は JF Can-do に該当するものが少なく、独自の Can-do が多くなっている。

独自の Can-do の中でも、特に特徴的であると思われる場面は進学に関するものである。『文化初級日本語 I・II』は前述したように日本の大学や専門学校などに進学することを希望する学習者を対象としており、初級学習者であっても進路について教員と相談したり進路指導を理解したりできるよう、本文や練習の中に進学関係の場面が多く設けられ、「進学説明会」や「オープンキャンパス」など進路相談で必要になるとと思われる語彙も盛り込まれている。第11課の文型6、7や本文3を練習することにより、「教師との面談で、卒業後の進路希望について聞かれたとき、簡単な言葉で答えることができる。」という A1 レベルの独自の Can-do を、第20課では「学校で、自分の進学希望について話したり、進学先についてアドバイスをもらったりして、自分の進路について簡単な言葉で教員と相談することができる。」という A2 レベルの独自の Can-do が達成できると考えた。A1 レベルか A2 レベルかというのは、文の長さややりとりの量などから判断した。第27課本文1では「友人と、オープンキャンパスの日程を見ながら、自分たちの都合を考慮して、短い簡単な言葉で話し合い、いつ行くか決めることができる。」という A2 レベル、「やりとり」の独自の Can-do がある。また、第27課本文3「面接試験」は、日本の専門学校や大学の入学試験で面接を受ける際の手引きのような想定で書かれており、ここでは「面接のマナーについて、簡単に書かれた文章を読んで、注意すべきことを理解することができる。」という A2 レベル、「受容」の独自の Can-do が達成できると考えた。

その他にも各課の本文に場面設定があり、練習もそれに沿ったものが多くある。例えば、第25課では自動詞と他動詞を学ぶが、それぞれが使われる特徴的な場面が本文や練習に盛り込まれており、本文1の「すみません、おつりが出ないんです。」は機械の故障などトラブルが発生した際、店員に自動詞を使って説明するという例である。これらを練習すると、「ホテルの部屋などで、電気がつかない、水が出ないなど、設備の不具合について簡単な言葉で説明することができる。」という A1 レベル、「やりとり」の独自の Can-do が達成できると考えた。第30課は敬語を学習する課で、本文や例文には大学教授と学生、初対面の人同士、店員と客など、様々な立場の人物が登場する。そのため、この課の練習をすること

で、「レストランなどで、客に、『どうぞおかけください』など、丁寧な言葉で席やメニューなどを勧めることができる。」や「初対面の人や目上の人に、『お手伝いしましょうか』など、丁寧な言葉で手助けを申し出ることができる。」のような A2 レベル、「やりとり」の独自の Can-do が達成できると考えた。JF スタンダードでは、敬語は「JF スタンダードの木」(国際交流基金, 2017) の根の部分、つまりコミュニケーション言語能力の構成要素であるとされ、コミュニケーション言語活動の具体的な例である JF Can-do 記述文の中には含まれていない。しかし、敬語表現を使って課題を遂行するということは、やりとりの相手も場面も既存の JF Can-do とは異なると考え、独自の Can-do として取り上げることにした。

以上のように、JF Can-do だけで記述し切れない部分には、独自の Can-do 記述文を考えた。基金は「各現場に合った新しい Can-do を作ることもできます。利用者が各現場で新しく独自に作成した Can-do を MY Can-do と呼びます。MY Can-do を作成することで、多様な教育現場の目標設定が柔軟に行えます。」(2017, p.20) としている。今回の調査は JF Can-do と比較することから始まったため、JF Can-do と独自の Can-do が混在しており、また 3-2-1. で挙げた例のように JF Can-do とは場面ややりとりの相手などが完全に一致していないものもある。今後は JF Can-do の部分を『文化初級日本語 I・II』に合わせて見直し、『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do 一覧を作成する必要がある。その一覧をもとに、教師も学習者も何ができるようになるのかを意識することができれば、より具体的な言語活動を身につけていくことが可能になるだろう。

4. 考察

前の章で述べたように、JF Can-do をもとに『文化初級日本語 I・II』の学習項目を見ることで、この教科書で学べばどのような JF Can-do が達成でき、どのような JF Can-do が不足しているかがわかった。この教科書に含まれていない JF Can-do を見ると、この教科書の学習対象者である、日本での進学を希望し、初めて日本語を学ぶ学習者にとって必要なものもあるが、そうではないものもあると感じた。例えば JF Can-do No.266 「職場の定期的な会議で、自分の担当業務に関する現状や今後の予定などについて、直接自分に向けられた簡単な質問に答えたり、人の助けがあれば、自分の考えや賛意を示すことができる。」といった JF Can-do は現時点では必要ないと言える。しかし、必要な JF Can-do については、何らかの形で達成できる方策を考えるべきだろう。そのためにまずは、普段の教育活動を振り返り、教科書の内容を発展させたり、他の教育活動を加えたりすることによって JF Can-do の達成に近づくことができるものはないか考えた。以下に具体的な方策と関連する JF Can-do を挙げる。

4-1. 『文化初級日本語 I・II』の例文、練習の活用

まず、現在教科書に含まれている文型の例文や練習の中で、JF Can-do につながりそうなものを挙げる。例えば、第9課の学習項目である文型2「～てください。」には、「助けてください。」という例文は出ていない。ここで、「助ける」という語彙を紹介し、練習して

おけば、JF Can-do No.550「旅行先などで火事やひったくりなどの予期しないトラブルに巻きこまれたとき、短い簡単な言葉で助けを求めたり、求められたときに対応したりすることができる。」のように、緊急の場合、周囲の人と助け合うことができるかもしれない。

また、第4課では形容詞の名詞接続や肯定形、否定形が学習項目になっており、「きれいな花ですね。」「そうですね。」といった会話が例文として提示されている。練習では、「～さんの携帯電話は新しいですか。」「はい、新しいです。」というように自分の物や身の周りの物について質問したり答えたりする練習を中心に行っている。ここで物についてだけでなく、日本では挨拶として天気の話をするのがよくあるということを紹介し、「こんにちは。いい天気ですね。」や「おはようございます。今日は暑いですね。」といった表現を練習すれば、JF Can-do No.221の「友人や近所の人と、その日の天気や気候について、『いい天気ですね』『暑いですね』などの基本的な挨拶を交わすことができる。」という JF Can-do が達成できるようになるだろう。

第15課は部屋探しがテーマの課で、ここでは比較や最上級の文型を学び、部屋を比べたり、好きな季節や果物など身近な物事について質問したり答えたりする練習をする。その練習を発展させることで、JF Can-do No.491「友人とおしゃべりで、好きな季節やその理由について、短い簡単な言葉で話すことができる。」や、JF Can-do No.548「友人に、これから住みたいところやその理由などについて、短い簡単な言葉でコメントや質問をしたり、質問に答えたりすることができる。」といった A2 レベルの JF Can-do の達成につながるのではないだろうか。

このように教科書の例文や練習を発展させることで、日本で生活する上で役に立つ JF Can-do が身につく可能性がある。そのことを意識して指導することが必要であろう。

4-2. 『文化初級日本語 I・II』の本文の活用

『文化初級日本語 I・II』の本文は場面がはっきりしているのも、発展させれば JF Can-do の達成につながるものが多く存在するということがわかった。例えば、第12課は料理教室がテーマになっており、食べ物や調味料、調理器具の名称や料理する時の基本的な動詞を学習する。その上で牛丼の作り方について、手順が書かれたプリントを見ながら説明を聞いてメモを取ったり、いっしょに牛丼を作ったりする共同作業の場面が本文になっている。これを発展させて、「食生活」というトピックの JF Can-do No.17「動作や図などで示しながら、料理の作り方などを短い簡単な言葉で友人に説明することができる。」という「産出」を目標にした活動や、JF Can-do No.523「自国の料理を食べる席で、友人に、どうやって食べるのか、食べる時どんなことに気をつけたらいいかなどについて、短い簡単な言葉で質問したり、説明することができる。」という「やりとり」ができることを目標にした教育活動が行えるのではないだろうか。

また、本文は各課のテーマに沿った場面における会話を中心として成り立っているものが多く、日常生活で使える挨拶、決まった表現などが豊富に存在する。そのことを意識し、それらを使って何ができるようになるかを考え指導することで、より多くの JF Can-do が

達成できるだろう。例えば、『文化初級日本語 I・II』の最後の課である第 34 課「お祝い」の本文 2 は、留学生たちが日本人の家に招待され、お祝いの食事を共にする場面であり、入試の合格や婚約などを報告し合う会話になっている。そこで出てくる「おめでとう。」や「みんなで乾杯しよう。乾杯！」という表現を発展させ、JF Can-do No.60「友人の結婚式で、出席者の前で、『ご結婚おめでとうございます』『お幸せになってください』など、あらかじめ準備した短いお祝いの言葉を読み上げることができる。」や JF Can-do No.59「仕事や文化祭の打ち上げなどの機会に、暗記した短い簡単な定型表現で乾杯や手締めの音頭をとることができる。」ことを目標にした練習を行い、本文で学習した表現を生活の中で使用し、日本語で交流することを目指すこともできるであろう。

普段の授業では、本文は文型の意味や機能、使用場面を意識させるために使用し、理解を中心とした指導で終わってしまうことが多い。2013 年に出版された『文化初級日本語 I・II』の教師用教材である『文化初級日本語 I・II 改訂版 教師用指導例集』（文化外国語専門学校）にも各課の本文を指導する際のポイントや指導例が出ているが、そこでは場面の確認をしてから本文の音声を聞き、Q.A. で内容を確認、本文に含まれる文型や表現の意味や使い方を説明した後、読み練習をするという流れが主に紹介されている。それにとどまらず、本文に含まれる JF Can-do の達成につながる表現ややりとりの存在を意識し、指導することで、それらを使って日常生活でより円滑なコミュニケーションが取れるように導くことができるのではないだろうか。

4-3. その他の教育活動の活用

今回の調査では、『文化初級日本語 I・II』の内容を中心に分析したため、教科書に掲載されていない教育活動については資料 1 に記述していない。しかし、本調査を通して、教科書の学習項目には含まれていないが、本校の初級の授業で通常行われている教育活動や、ホームルーム活動、放課後の進路指導など、授業以外の学習者とのやりとりにおいて、達成が目指せる項目も多くあることに気がついた。

例えば、第 22 課では「ほしい」「あげる」「もらう」といった表現を学習し、プレゼントをあげたりもらったりする際のやりとりを練習する。その際、実際にクラスメートの趣味や好みからあげる物を決め、紙にプレゼントの絵やメッセージを書き、贈り合うという練習をしている。これは、JF Can-do No.446「友人への年賀状や誕生日カードに、『あけましておめでとうございます』『お誕生日おめでとうございます』など、定型の簡単なメッセージを書くことができる。」及び、JF Can-do No.129「友人からの年賀状や誕生日カードに書いてある『あけましておめでとうございます』『お誕生日おめでとうございます』など、定型の簡単なメッセージを読んで、理解することができる。」という JF Can-do が達成可能な教育活動であると言える。また、JF Can-do No.410「次の誕生日に何が欲しいか、友人にたずねたり、答えたりすることができる。」や JF Can-do No.495「友人にプレゼントをもらったとき、『素敵～ですね。大切にします』など、自分の気持ちを交えて、短い簡単な言葉でお礼を言うことができる。」にもつながり、複数の JF Can-do が達成できる教育活動だと

考えられる。

他にも、『楽しく聞こう I・II』などの副教材や、出版されていない本校自主作成教材などを使って、数多くの JF Can-do が達成できると思われる練習が行われている。これら教科書に掲載されていない部分を含め、本校における初級のカリキュラム全体を通して分析することが今後必要であろう。

また、教師は授業内外を問わず、日常的に学習者にスケジュールや課題、持ち物、注意事項などを説明しており、学習者間でもそれらを確認するためのやりとりが行われていると思われる。それらの日常的なやりとりも目標を意識して行うことで、JF Can-do No.107「ゆっくりとはっきりと話されれば、休講や教室変更など、教師のごく簡単なアナウンスを聞いて、理解することができる。」や、JF Can-do No.414「翌日の授業の時間割をクラスメートにたずねたり、答えたりすることができる。」など様々な JF Can-do が達成できる可能性がある。

ホームルーム活動では、文化祭やキャンプなど、学校行事の内容や予定を説明したり、休みの間のイベントを紹介し、情報を掲示したりしている。また、夏休みや冬休みの後には休みの間の出来事を写真を見せながら学習者同士で報告し合う。こういったホームルーム活動での連絡ややりとりを通して、JF Can-do No.476「学校や地域の文化祭のプログラムなどの短い簡単なテキストを見て、出し物の時間や内容など、必要な情報を探し出すことができる。」や JF Can-do No.497「正月休み明けに友人と、基本的な正月の挨拶をし、休み中何をしたか、どうだったかなど、短い簡単な言葉で話すことができる。」などが達成できるようになると言えるのではないだろうか。

今回の調査では、教科書外の活動は分析の対象外とし、記述しなかったが、学習者は学校生活全体を通して、こうした Can-do を身につけていると考えられる。こういった日々の教師と学習者、また学習者間における活動ややりとりにおいても Can-do が存在し、それらの意義を認識することでその達成により近づくことができるのではないだろうか。

5. まとめと課題

本校オリジナルの教科書である『文化初級日本語 I・II』を JF スタンダードという外部の指標から見直したことで、多くの気づきを得られた。それと同時に、今後取り組むべき数多くの課題も見えてきた。

5-1. まとめ

『文化初級日本語 I・II』は、1. で述べたように CEFR や JF スタンダードに準拠し作成された教科書ではない。1987 年、2000 年に出版された『文化初級日本語 I・II』『新文化初級日本語 I・II』は日本で進学することを希望する留学生が将来高等教育を受ける際に必要となる応用力を積み上げるために基礎的な日本語力を身につけることを主な目標として作られた教科書である。国際交流基金（2017）で示されている「JF スタンダードの木」で言えば、今回分析した枝を表す「コミュニケーション言語活動」の達成ではなく、根の

部分となる「コミュニケーション言語能力」を身につけることを主な目標として作られた教科書と言えるだろう。しかし、JF Can-do と照らし合わせて分析することで、『文化初級日本語 I・II』の本文や文型の例文、練習には「コミュニケーション言語活動」の Can-do 達成につながるものが「やりとり」を中心に数多く含まれていることがわかった。それは 2013 年に教科書を改訂した際、「文法を正確に理解する力」「相手が言いたいことを理解する力」に加えて、「自分が伝えたいことを積極的に表現する力」を身につけることも目標にし、「チャレンジ!」や「友達と話そう」など、様々な練習を加え、教室外でも日本語が使えること、日本語で生活できる力を培うことを目指して改訂されたからだと思われる。

しかしながらそのことを意識せず、文型や表現の理解だけを目標にこの教科書を使っていると、達成できる可能性のある Can-do を見逃してしまうことになるだろう。そうならないように、この教科書に含まれている Can-do をしっかり意識し、文型や表現を指導する際、より具体的に使用場面ややりとりの相手、状況を設定して練習を行うことが必要である。そうすれば、「コミュニケーション言語能力」と「コミュニケーション言語活動」双方をつなげ、効果的に日本語のコミュニケーション力を養うことができるであろう。

今回、資料 1 を作成したことで、『文化初級日本語 I・II』の各課でどのようなことができるようになるのかがより明確になった。各教師がこのことを意識してこの教科書を使うようになれば、教育活動がより学校外の日常生活につながり、学習者の日本語を使って生活する力が伸びるのではないだろうか。

5-2. 今後の課題

まず、3-2-2. で述べたように、この教科書独自の Can-do 一覧を完成させる必要がある。今回 JF Can-do に『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do を加えたりスト（資料 1）を作成したが、それを見直し、『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do 一覧を完成させなくてはならない。そして、その一覧を教師間で共有し、より明確な目標を目指して指導していきたい。また、学習者と共有する方法も検討し、学習者自身のモチベーションや自己評価につなげる方策を探りたい。その上で、『文化初級日本語 I・II』Can-do 一覧を本校以外で『文化初級日本語 I・II』を使っている方々にも見ていただけるように公開し、見てくださった方々の意見を取り入れながら継続的に見直しや改訂を重ねていく必要があると考える。

さらに、今回初級の教科書の調査に着手したが、本校オリジナルの教科書としては『文化中級日本語 I』『文化中級日本語 II』（文化外国語専門学校）も出版されている。それらも調査、分析し、本校でどういった能力を養っているのか、年間のカリキュラムを通して検証することが必要であろう。

今回、『文化初級日本語 I・II』を JF スタンドードをもとに見直すことで、今までの教育活動を客観的に見直し、本校で学ぶことによって身につくだろうと思われる能力や不足している教育活動、今後取り組むべき課題などに気づくことができた。「コミュニケーション言語能力」と「コミュニケーション言語活動」の Can-do を意識することにより、本校オ

リジナルの教科書である『文化初級日本語 I・II』を最大限に活用し、学習者が日本語を使って周囲の人と互いに理解し合い、生活していく力を伸ばすためにできることを考え、実践していきたい。そのためには、まだ入り口に立ったところであるが、今後も継続的な取り組みを続けていきたい。

参考文献／参考 URL

- 国際交流基金 (2017) 『JF 日本語教育スタンダード【新版】 利用者のためのガイドブック』 https://jfstandard.jp/pdf/web_whole.pdf
- 国際交流基金 (2020) 「JF 日本語教育スタンダードの Can-do の量的検証について— 産出、やりとりの Can-do を中心として—」 https://jfstandard.jp/pdf/JFS_Cando_Report_2020.pdf
- 文化外国語専門学校 (2013) 『文化初級日本語 I・II テキスト 改訂版』 凡人社
- 国頭美紀・白岩麻奈・八田浩野・廣田周子・平川奈津子 (2015) 「『文化初級日本語 I・II テキスト改訂版』 作成報告」『文化外国語専門学校紀要』 第 27 号, 10-15, https://www.bunka-bi.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/004031327_01.pdf, 文化外国語専門学校
- 国際交流基金「みんなの Can-do サイト」 <https://jfstandard.jp/cando/top/ja/render.do> (参照 2020-07-02)
- 塩澤真季・石司えり・島田徳子 (2010) 「言語能力の熟達度を表す Can-do 記述の分析—JF Can-do 作成のためのガイドライン策定に向けて—」『国際交流基金日本語教育紀要』 第 6 号, 23-39
- 文化外国語専門学校 (2013) 『文化初級日本語 I・II 改訂版 教師用指導例集』 凡人社
- 奥村三菜子・櫻井直子・鈴木裕子 (2016) 『日本語教師のための CEFR』 くろしお出版
- 来嶋洋美・柴原智代・八田直美 (2012) 「JF 日本語教育スタンダード準拠コースブックの開発」『国際交流基金日本語教育紀要』 第 8 号, 103-117
- 国際交流基金 (2013) 『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』 三修社
- 国際交流基金 (2013) 『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 かつどう』 三修社
- 国際交流基金 (2014) 『まるごと 日本のことばと文化 入門 A2 りかい』 三修社
- 国際交流基金 (2014) 『まるごと 日本のことばと文化 入門 A2 かつどう』 三修社
- 森本由佳子・塩澤真季・小松知子・石司えり・島田徳子 (2011) 「コミュニケーション言語活動の熟達度を表す JF Can-do の作成と評価—CEFR の A 2・B 1 レベルに基づいて—」『国際交流基金日本語教育紀要』 第 7 号, 25-42

資料1 文化初級日本語 I・II Can-do 一覧

表の見方

番号	初出課	提出箇所	レベル	言語活動	JF Can-do / 文化初級日本語 Can-do	JF No.	カテゴリ	第1トピック
1	ひらがな カタカナ	ひらがな・カタカナ生活の言葉 4時間 / ~月 / ~日 / 曜日	A1	受容	大学のゼミの発表スケジュールを見て、自分の名前と発表日を確認することができる。	152	必要な情報を探し出す	学校と教育
1	2	3	4	5	6	7	8	9

- 1 全体の通し番号
 - 2 初出課
『文化初級日本語 I・II』での初出の課。
 - 3 提出箇所（課・文型・本文・練習など）
Can-do 達成に関連する学習項目を記載。複数ある場合は全て記載した。
 - 4 レベル
A1 か A2 を記載。『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do については JF Can-do を参考に判断し記載した。
 - 5 言語活動
受容・産出・やりとりのいずれかを記載。『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do については JF Can-do を参考に判断し記載した。
 - 6 JF Can-do / 文化初級日本語 Can-do
『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do については赤字で記載した。
 - 7 JF No.
 - 8 カテゴリー
 - 9 第1トピック
- } JF Can-do より。『文化初級日本語 I・II』独自の Can-do については記載なし。

番号	初出課	提出箇所	レベル	言語活動	JF Can-do / 文化初級日本語 Can-do	JF No.	カテゴリ	第1トピック
文化初級日本語改訂版 テキスト I								
1	ひらがな カタカナ	ひらがな・カタカナ生活の言葉 4時間 / ~月 / ~日 / 曜日	A1	受容	大学のゼミの発表スケジュールを見て、自分の名前と発表日を確認することができる。	152	必要な情報を探し出す	学校と教育
2	ひらがな カタカナ	ひらがな・カタカナ	A1	受容	海外の店の「レストランさくら」など、ごく簡単な日本語で書かれた看板を見て、ローマ字や母語などを手がかりに、行きたい店を探し出すことができる。	153	必要な情報を探し出す	言語と文化
3	ひらがな カタカナ	ひらがな・カタカナ生活の言葉 4時間 / ~月 / ~日 / 曜日	A1	やりとり	職場の連絡用ホワイトボードなどに、外出先や戻る時間など、自分の予定を簡単な言葉で書き込むことができる。	451	申請書類や伝言を書く	仕事と職業
4	ひらがな カタカナ	ひらがな・カタカナ	A1	やりとり	入国カードやホテルの宿泊カードなどに、氏名、住所、国籍など、自分の基本的な情報を書くことができる。	453	申請書類や伝言を書く	旅行と交通
5	ひらがな カタカナ	ひらがな・カタカナ	A1	やりとり	試験の解答用紙などに、自分の氏名と受験番号を書くことができる。	454	申請書類や伝言を書く	学校と教育
6	ひらがな カタカナ	ひらがな・カタカナ	A1	やりとり	自己紹介の場で、名札などに自分の国、自分の名前を日本語で書くことができる。	455	申請書類や伝言を書く	言語と文化

7	教室の言葉	教室の言葉 L9 文型 2	A1	受容	ゆっくりとはっきりと話されれば、「教科書を開いてください」「教科書を読んでください」などの授業中の教師のごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	108	指示や アナウンスを聞く	学校と 教育
8	生活の言葉	生活の言葉 1 あいさつ	A1	やりとり	友人や近所の人と、時間帯に合った基本的な挨拶を交わすことができる。	220	社交的な やりとりをする	人との 関係
9	生活の言葉	生活の言葉 1 あいさつ	A1	やりとり	助けてもらったり、親切にされたりしたとき、「ありがとうございます」などのお礼の言葉を言うことができる。	222	社交的な やりとりをする	人との 関係
10	生活の言葉	生活の言葉 1 あいさつ L31 本文 2、謝り方、 練習 c	A1	やりとり	時間に遅れたり、人に迷惑をかけたとき、「すみません」などの謝りの言葉を言うことができる。	223	社交的な やりとりをする	人との 関係
11	生活の言葉	生活の言葉 1 あいさつ L 6 本文 1 L 30 文型 2、練習 b	A1	やりとり	友人が自分の家を訪問したときに、「どうぞ」など短い簡単な言葉で椅子を勧めたり、「ありがとうございます」などと答えたりすることができる。	226	社交的な やりとりをする	人との 関係
12	生活の言葉	生活の言葉 2 数、3 買い物 日本のお金	A1	やりとり	駅員に目的地までの切符の値段をたずね、まわりの騒音が少なく、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	333	店や公共機 関でやりと りをする	旅行と 交通
13	生活の言葉	生活の言葉 3 買い物	A1	受容	ファーストフード店やレストランなどでメニューを見て、自分が知っている食べ物や飲み物の名前など、いくつかの情報を理解することができる。	169	情報や要点 を読み取る	食生活
14	生活の言葉	生活の言葉 3 買い物	A1	やりとり	飲食店で、サンプルやメニューの写真を指差しながら、料理や飲み物を、「これをください」など簡単な言葉で注文することができる。	347	店や公共機 関でやりと りをする	食生活
15	生活の言葉	生活の言葉 3 買い物	A1	やりとり	フリーマーケットなどで、客に品物の値段を聞かれて、答えることができる。	390	情報交換す る	自由時 間と 娯楽
16	生活の言葉	生活の言葉 3 買い物	A1	やりとり	フリーマーケットなどで、売っている人に品物の値段をたずね、答えを聞いて理解することができる。	404	情報交換す る	買い物
17	生活の言葉	生活の言葉 3 買い物 日本 のお金	A1	受容	店で商品の値札などを見て、値段を確認することができる。	150	必要な情報 を探し出す	買い物
18	生活の言葉	生活の言葉 4 時間 / ~月 / ~日 / 曜日 L1 文型 4,5	A1	受容	パーティーの招待状などを見て、日時や場所など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。	145	必要な情報 を探し出す	自由時 間と 娯楽
19	生活の言葉	生活の言葉 4 時間 / ~月 / ~日 / 曜日	A1	やりとり	役所などで、本人確認のために生年月日をたずねられて、答えることができる。	386	情報交換す る	自分と 家族
20	生活の言葉	生活の言葉 4 時間 / ~月 / ~日 / 曜日	A1	やりとり	時計を忘れたとき、今、何時かを友人にたずねたり、答えたりすることができる。	395	情報交換す る	生活と 人生
21	生活の言葉	生活の言葉 4 時間 / ~月 / ~日 / 曜日	A1	やりとり	自分の予定を家族や同居人に知らせるために、いつ何をするか、カレンダーに書き込むことができる。	450	申請書類や 伝言を書く	自分と 家族
22	生活の言葉	生活の言葉 4 時間 / ~月 / ~日 / 曜日 L1 文型 4,5	A1	受容	地域で有名な祭りなど、催し物のポスターを見て、開催日、場所など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。	146	必要な情報 を探し出す	自由時 間と 娯楽
23	生活の言葉	生活の言葉 4 時間 / ~月 / ~日 / 曜日 L1 文型 4,5,6	A1	受容	お店やレストランの前にある看板や表示を見て、営業時間や定休日など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。	149	必要な情報 を探し出す	買い物
24	生活の言葉	生活の言葉 4 時間 / ~月 / ~日 / 曜日 L 1 文型 4,5,6	A1	受容	お店やレストランの外に貼ってある休業のお知らせなどを見て、休みであることやその期間など、ごく基本的な情報を理解することができる。	168	情報や要点 を読み取る	買い物
25	生活の言葉	生活の言葉 1 あいさつ	A1	やりとり	研究室に入るとき、「失礼します」などの言葉を言うことができる。			

26	生活の言葉	生活の言葉 2 数	A1	受容	ゆっくりとはっきりと話されれば、教室で教科書のページ数など、教師が言う数字を聞いて理解することができる。			
27	1	L1 文型 1,2,3、本文 1,2	A1	やりとり	パーティーやイベントで初めて会った人に、名前、出身、仕事などをたずねたり、答えたりすることができる。	209	社交的なやりとりをする	自由時間と娯楽
28	1	L1 文型 1,2,3、本文 1,2	A1	やりとり	駅や公園などで、警官にパスポートを持っているか、どこの国から来たかなどのごく基本的な質問をされたとき、簡単な言葉で答えることができる。	431	ｲｼﾞｲ-する ／受ける	生活と人生
29	1	L1 文型 1,2,3、本文 1,2 L6 文型 1,3,4、練習 a,b,c,d	A1	やりとり	ゆっくりとはっきりと話されれば、新しいスタッフを紹介する社内報の記事などのために、自分の名前や出身、好きなものなど、ごく基本的な質問に答えることができる。	432	ｲｼﾞｲ-する ／受ける	仕事と職業
30	1	L1 本文 1	A1	やりとり	初対面の人に、「はじめまして」「よろしくお願いします」などと簡単に挨拶を合することができる。			
31	1	L1 文型 4、練習 b、本文 3	A1	やりとり	ゆっくりはっきりと話されれば、店の営業時間や授業時間などをたずねたり、答えを聞いて理解したりすることができる。			
32	2	L2 文型 5 練習 a ☆、 練習 c	A1	産出	一日の生活について、何時に何をするか、簡単な言葉で友人に言うことができる。	26	経験や物語を語る	生活と人生
33	2	L2 文型 5 練習 a ☆、 練習 c	A1	やりとり	友人とおしゃべりで、起きる時間や寝る時間を簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	214	社交的なやりとりをする	生活と人生
34	2	L2 文型 1,2	A1	やりとり	友人とおしゃべりで、朝ごはんを食べるか、何を飲むかなど、友人に簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	219	社交的なやりとりをする	食生活
35	2	L2 全部	A1	やりとり	外出するとき、今日の夕食はいるか、何時頃帰るかなどをホストファミリーや同居人などに伝えることができる。	393	情報交換する	生活と人生
36	2	L2 練習 d	A1	やりとり	友人とおしゃべりで、週末に何をしたか、友人に簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。			
37	3	L3 全部	A1	やりとり	学校で落とし物などを見つけたとき、「これは誰の本ですか」「それは私のです」など、簡単な言葉で所有者をたずねたり、答えたりすることができる。			
38	4	L4 文型 1,2,3、練習 c,d L7 文型 4、練習 d ☆ L8 文型 5	A1	産出	友人を自宅に誘うとき、「私の家はアパートです」「明るいです」など、簡単な言葉で自分の家を紹介することができる。	24	経験や物語を語る	住まいと住環境
39	4	L4 文型 2,3、練習 d	A1	やりとり	友人とおしゃべりで、自分の部屋や持ち物について、「きれいですか」「新しいですか」など、簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。			
40	4	L4 文型 4,5,6、練習 e、 本文 2	A1	やりとり	店の入り口などで、たくさんあるくつや傘などの中から、相手の物がどれか、簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。			
41	5	L5 文型 1	A1	産出	友人に自分の家を説明するとき、「部屋が一つあります」「テレビはありません」など、簡単な言葉で言うことができる。	25	経験や物語を語る	住まいと住環境
42	5	L5 本文 2、練習 d	A1	やりとり	デパートの案内所で、欲しい商品が何階にあるかたずね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	342	店や公共機関でやりとりをする	買い物

43	5	L5 本文 2、練習 d	A1	やりとり	店や飲食店などで、「すみません」などの表現を使って、店員を呼ぶことができる。	344	店や公共機関でやりとりをする	買い物
44	5	L5 文型 4、練習 b	A1	やりとり	家の中で、ホストファミリーや同居人などが今どこにいるか、他の人にたずねたり、答えたりすることができる。	388	情報交換する	住まいと住環境
45	5	L5 文型 4、本文 2 L19 文型 6	A1	やりとり	友人の家で、トイレがどこかたずねたり、答えたりすることができる。	389	情報交換する	住まいと住環境
46	5	L5 文型 4、練習 b	A1	やりとり	職場で、席を外している人が今どこにいるか、他の人にたずねたり、答えたりすることができる。	398	情報交換する	仕事と職業
47	5	L5 文型 4、練習 c L19 文型 6、本文 3、練習 f,g	A1	やりとり	地図を指差しながら、近くにいる人に現在地や目的地がどこかたずねたり、「右に行きます」など行く方向を答えたりすることができる。	399	情報交換する	旅行と交通
48	5	L5 文型 4、練習 b	A1	やりとり	友人に迎えに来てもらうときに、電話で自分がある場所を、短い簡単な言葉で伝えることができる。	400	情報交換する	旅行と交通
49	5	L5 文型 3	A1	やりとり	日本語の授業で出欠をとるときなどに、自分の名前が呼ばれたら、「はい」と返事をし、欠席の人の名前には「いません」などと答えることができる。	415	情報交換する	言語と文化
50	6	L6 本文 1 L30 練習 b	A1	やりとり	飲み物を勧めたり、勧められたりするとき、「お茶、どうぞ」「いただきます」などの基本的な挨拶を交わすことができる。	207	社交的なやりとりをする	住まいと住環境
51	6	L6 文型 1,3,4,7、 練習 a,b,c,d,f,g、本文 1,2,3	A1	やりとり	お見合いパーティーなどで初めて会った人に、趣味は何か、簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	210	社交的なやりとりをする	自由時間と娯楽
52	6	L6 文型 1,3,4,7、 練習 a,b,c,d,f,g、本文 1,2,3	A1	やりとり	お見合いパーティーなどで初めて会った人に、休みの日に何をするか、簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	211	社交的なやりとりをする	自由時間と娯楽
53	6	L6 本文 1 L21 本文 2	A1	やりとり	友人と一緒に食事をしながら、「おいしいですね」などの感想を言ったり感想をたずねたりすることができる。	216	社交的なやりとりをする	食生活
54	6	L6 文型 3,4、練習 c,d,g	A1	やりとり	立食パーティーなどで、友人や同僚と、「何が好きですか」「肉が好きです」など、食事の好みを簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	217	社交的なやりとりをする	食生活
55	6	L6 文型 3、練習 c L21 本文 2 L30 本文 2	A1	やりとり	食事に招待されたとき、食べ物や飲み物についての好き嫌いを聞かれて、答えることができる。	407	情報交換する	食生活
56	6	L6 文型 3,4、練習 c,d,g	A1	やりとり	一緒に外食するとき、好きな料理は何か、友人にたずねたり、答えたりすることができる。	408	情報交換する	食生活
57	6	L6 文型 1,3,4,5,7、 練習 a,b,c,d,f,g、本文 1,2,3	A2	やりとり	パーティーや新しいサークルなどで初めて会った人と、趣味や暇なときにすることについて、短い簡単な言葉で話することができる。	482	社交的なやりとりをする	自分と家族
58	7	L7 文型 1 L9 文型 9 L20 文型 1,2	A1	やりとり	友人や近所の人に、夏休みや年末年始などの休暇にどこかに行くかたずねたり、答えたりすることができる。	208	社交的なやりとりをする	自由時間と娯楽
59	7	L7 文型 1,4、練習 e、 本文 1 L19 文型 3、練習 b,c	A1	やりとり	鍵や財布などの貴重品を無くしたとき、一緒にいる友人に「鍵を無くしました」「鍵がありません」など、短い簡単な言葉で伝えることができる。	401	情報交換する	旅行と交通

60	7	L7 文型 1,4、練習 e、本文 1,2	A1	やりとり	鍵や財布などの貴重品を無くしたとき、交番で警察官にいつ、どこでなくしたか、どんな財布かなど、短い簡単な言葉で伝えることができる。			
61	8	L8 文型 1,2,3,4,5,7、練習 a,b,d、本文 1,2 L9 練習 j ☆ L14 文型 4、練習 d ☆	A1	やりとり	友人や近所の人に、休みの日にどこへ行ったかたずねたり、「楽しかったです」などの簡単な感想を交えながら、答えたりすることができる。	212	社交的なやりとりをする	自由時間と娯楽
62	8	L8 文型 2,3,4,5,7、練習 a,b,d、本文 1,2	A1	やりとり	友人や近所の人に、イベントに参加した感想をたずねたり、「よかったです」などの簡単な言葉で答えたりすることができる。	213	社交的なやりとりをする	自由時間と娯楽
63	8	L8 文型 1,2,3,4,5,7、練習 a,b、本文 1,2 L14 本文 1,2 L23 練習 b L29 練習 a	A2	産出	お土産を渡しながら、休み中に行った場所や出来事などについて、短い簡単な言葉で友人に語るすることができる。	13	経験や物語を語る	旅行と交通
64	8	L8 文型 1,2,3,4,5,7、練習 a,b、本文 1,2 L14 本文 1,2 L23 練習 b L29 練習 a	A2	産出	旅行やツアーに参加した後で、どんなことをしたのか、何を見たのかなど、感想とともに短い簡単な言葉で友人に語るすることができる。	465	経験や物語を語る	旅行と交通
65	8	L8 文型 2,3,4,5,7、練習 a,b L23 練習 b L24 練習 b L29 練習 a L31 本文 3	A2	やりとり	友人と、コンサートや展覧会などの後で、良かったところについて、短い簡単な言葉でコメントや質問をしたり、答えたりすることができる。	250	インフォーマルな場面でやりとりをする	自由時間と娯楽
66	9	L9 文型 2,3、本文 1,2	A1	受容	海岸でのゴミ拾いのボランティアをしているとき、実際にやり方を示しながらゆっくりとはっきりと話されれば、リーダーのごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	106	指示やアカスを聞く	自然と環境
67	9	L9 文型 2,3	A1	受容	場所や物を示しながらゆっくりとはっきりと話されれば、食卓のどの席に座るか、洗濯物をどこに入れるかなど、家でのルールに関するホストファミリーのごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	109	指示やアカスを聞く	言語と文化
68	9	L9 文型 2,3	A1	受容	ゆっくりとはっきりと話されれば、茶道の体験クラスで、「お菓子を食べてください」「お茶を飲んでください」など、基本的な動作に関する先生のごく簡単な指示を、他の人の動作を参考にしながら聞いて、理解することができる。	110	指示やアカスを聞く	言語と文化
69	9	L9 文型 2、練習 a L26 本文 3	A1	やりとり	重い物の移動など人の助けが必要なとき、「助けてください」「手伝ってください」など、短い簡単な言葉で頼んだり、ゆっくりとはっきりと話されれば、頼まれたことに対応したりすることができる。	285	共同作業中にやりとりをする	生活と人生
70	9	L9 文型 2、練習 a	A1	やりとり	出張先のオフィスで借りたいものや使いたいものがあるとき、実物を指差して、「これ、いいですか」「貸してください」など、短い簡単な言葉で、人に頼むことができる。	287	共同作業中にやりとりをする	仕事と職業
71	9	L9 文型 2、練習 a、本文 2 L21 練習 a	A1	やりとり	職場や工場などで作業中に、「ちょっと来てください」「見てください」など、短い簡単な言葉で指示したり、ゆっくりとはっきりと話されれば、指示されたことに対応したりすることができる。	288	共同作業中にやりとりをする	仕事と職業

72	9	L9 文型 2 L21 文型 1、練習 a	A1	やりとり	買い物のあと、買って来た食材をどこに入れるか、短い簡単な言葉でたずね、ゆっくりとはっきりと話されれば、ごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	289	共同作業中にやりとりをする	買い物
73	9	L9 文型 2、練習 a L30 文型 4、練習 d、 本文 3	A1	やりとり	食卓で、「しょうゆを取ってください」「おかわりをお願いします」など、短い簡単な言葉で頼んだり、ゆっくりとはっきりと話されれば、頼まれたことに対応したりすることができる。	292	共同作業中にやりとりをする	食生活
74	9	L9 文型 7、練習 h L24 文型 1、練習 d	A1	やりとり	職場や教室などで、忙しそうなお人や困っている人に、「手伝いましょうか」のように簡単な言葉で手助けを申し出ることができる。			
75	9	L9 文型 8、本文 3	A1	やりとり	図書館で本を借りたときの返却期限や、学生会館の門限などを、簡単な言葉でたずねたり、答えを聞いて理解することができる。			
76	9	L9 文型 6、練習 e、本文 2	A1	受容	ゆっくりとはっきりと話されれば、コピー機や ATM などの機器の操作の順番を聞いて理解できる。			
77	10	L10 文型 1 L19 文型 6、練習 f、g	A1	やりとり	ホテルや観光案内所などの職場で、客に目的地までの交通手段をたずねられたとき、地図やメモなどの視覚的な補助を利用しながら、簡単な言葉で答えることができる。	332	店や公共機関でやりとりをする	仕事と職業
78	10	L10 文型 1、練習 a,b、 本文 1 L19 文型 6、練習 f,g、 本文 3	A1	やりとり	ホテルのフロントなどで、地図やメモなどの視覚的な補助を利用しながら、目的地までの交通手段を、短い簡単な言葉でたずね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	340	店や公共機関でやりとりをする	旅行と交通
79	10	L10 文型 1、練習 a,b	A2	やりとり	駅で駅員に、目的地への行き方や電車の乗り方などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	322	店や公共機関でやりとりをする	旅行と交通
80	10	L10 文型 2、本文 2	A1	やりとり	団体行動中、いなくなった人がどこにいるのか、何をしているのか、簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。			
81	10	L10 文型 1、本文 1	A1	受容	ゆっくりとはっきりと話されれば、団体旅行中、旅行のスケジュールを聞いて、大まかに理解することができる。			
82	11	L11 家族の呼び方、文型 1、 本文 2	A1	産出	日本語の最初の授業など、初めて会う人のグループの中で自己紹介するとき、自分の家族の人数と構成を、簡単な言葉で言うことができる。	22	経験や物語を語る	自分と家族
83	11	L11 文型 1、本文 2	A1	やりとり	友人と家族写真を見せ合いながら、家族の仕事や年齢などを簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	206	社交的なやりとりをする	自分と家族
84	11	L11 文型 3,4 L20 文型 3	A1	やりとり	空港の入国審査で、訪日目的などを聞かれたとき、「観光です」などのごく簡単な言葉で答えることができる。	433	体験する / 受ける	旅行と交通
85	11	L11 家族の呼び方、文型 1、 練習 a、本文 1,2、 チャレンジ	A2	産出	初めて会った人の前で自己紹介するとき、自分や家族がどこに住んでいるか、何をしているかなど、短い簡単な言葉で話すことができる。	456	経験や物語を語る	自分と家族
86	11	L11 家族の呼び方、文型 1、 練習 a、本文 1,2	A2	産出	自分自身や家族、仕事、趣味など、基本的なことについての自己紹介文を短い簡単な文でブログなどに書くことができる。	67	作文を書く	自分と家族

* 通し番号 86、JF Can-do No.67 に「自分自身や家族、仕事、趣味など、基本的なことについての自己紹介文を短い簡単な文でブログなどに書くことができる」(A2 産出)とある。ブログに書く際はパソコンやスマートフォンを使って入力することになり、筆記用具で紙に書くのとは違う日本語入力のための知識やスキルが必要になるが、ブログなどに書く内容が日本語で表現できると考え、第 11 課の Can-do として記述した。

*

87	11	L11 文型 3,4,5、練習 b、チャレンジ	A2	産出	初めて会った人の前で自己紹介するとき、自分の趣味や最近経験したことなどについて、短い簡単な言葉で語ることができる。	459	経験や物語を語る	自分と家族
88	11	L11 家族の呼び方、文型 1、練習 a、チャレンジ	A2	産出	自分自身や家族、仕事、趣味など、基本的なことについての自己紹介文を短い簡単な文で社内報などに書くことができる。	71	作文を書く	仕事と職業
89	11	L11 文型 2,3,6、本文 1	A1	やりとり	友人とおしゃべりで、何のために日本へ来たか、将来何をしたいかなどについて、簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。			
90	11	L11 文型 6,7、本文 3	A1	やりとり	教師との面談で、卒業後の進路希望について聞かれたとき、簡単な言葉で答えることができる。			
91	12	L12 本文 1	A1	受容	辞書を使うことができれば、料理のレシピにある材料のリストの部分を見て、何がどのぐらい必要か、理解することができる。	170	情報や要点を読み取る	食生活
92	12	L12 本文 1,2	A1	やりとり	実際にやり方を示しながらゆっくりとはっきりと話されれば、「このように切ってください」など一緒に料理をしている友人のごく簡単な指示を聞いて理解し、「これでいいですか」などと確認することができる。	291	共同作業中にやりとりをする	食生活
93	12	L12 本文 1,2、料理の言葉	A2	やりとり	友人と料理を作るために、短い簡単な言葉で確認や指示をしたり、受けたりすることができる。	281	共同作業中にやりとりをする	食生活
94	12	L12 練習 a	A1	受容	ゆっくりとはっきりと話されれば、教室などで教師が説明する校外学習の予定を聞いて、何時にどこで何をするか、大まかに理解できる。			
95	13	L13 本文 3、チャレンジ	A2	産出	勉強会や授業などで、メモをときどき見ることができれば、クラスメートに対する生活習慣についてのアンケート結果を短い簡単な言葉で発表し、発表内容の事実確認などの簡単な質問に対応することができる。	471	講演やプレゼンテーションをする	健康
96	13	L13 文型 6、練習 d	A1	やりとり	学校の施設や日本のアニメなどについて、友人に考えや感想をたずねたり、簡単な言葉で理由とともに答えたりすることができる。			
97	13	L13 本文 1,2、チャレンジ	A2	やりとり	日本人学生へのインタビューで、日常生活について簡単な言葉でたずねたり、答えを聞いて理解したりすることができる。			
98	14	L14 本文 1,2、チャレンジ	A1	産出	どこへ行ったか、何をしたかなど、その日にしたことを短い簡単な文でブログに書くことができる。	76	作文を書く	生活と人生
99	14	L14 本文 1,2	A1	受容	旅先からの家族や友人の短い簡単な文で書かれたはがきやメールなどを読んで、どこへ行ったか、何をしたかを理解することができる。	128	手紙やメールを読む	旅行と交通
100	14	L14 本文 1,2	A1	受容	ごく短い簡単な文で書かれたブログを見て、写真などを手がかりに、ブログを書いた人が何をしたか、どこへ行ったかなどを理解することができる。	167	情報や要点を読み取る	自由時間と娯楽
101	14	L14 本文 1,2	A2	受容	旅行中の出来事について書かれた家族や友人からの短い簡単なはがきやメールなどを読んで、内容を大まかに理解することができる。	124	手紙やメールを読む	旅行と交通

102	14	L14 文型 2、練習 a	A1	やりとり	教室などの共用スペースで、「暑いのでクーラーをつけてもいいですか」のように簡単な言葉で、理由とともに他の人に許可を求めることができる。			
103	15	L15 練習 c	A2	産出	自分の国について学ぶ集まりなどで、メモをときどき見ることができれば、自分の国や町の様子などについて、短い簡単なプレゼンテーションをすることができる。	55	講演やプレゼンテーションをする	言語と文化
104	15	L15 文型 5、練習 b	A2	やりとり	お互いの国の季節の移り変わりについて、天気、寒暖などの簡単な情報を、短い簡単な言葉で友人に質問したり、質問に答えたりすることができる。	524	情報交換する	自然と環境
105	15	L15 本文 1,2,3,4	A2	やりとり	部屋探しをするとき、不動産屋で駅までの距離や部屋の広さ、家賃などをたずねたり、答えを聞いて理解したりすることができる。			
106	16	L16 本文 1,2,3、薬の種類・病院で使う言葉	A1	受容	自分に向かってゆっくりとはっきりと話されれば、「よく休んでください」「薬を1日3回飲んでください」など、医者のごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	105	指示やアクセスを聞く	健康
107	16	L16 体の言葉、病気の症状、文型 1,2、練習 b,c、本文 1,2	A1	やりとり	体の調子が悪いとき、「おなか痛いです」「気持ちが悪いです」など、短い簡単な言葉で、ホストファミリーに伝えることができる。	403	情報交換する	健康
108	16	L16 本文 1、練習 c	A1	やりとり	病院の診察室で触診を受けながら、痛いかわからないかの質問に答えることができる。	434	体験する／受ける	健康
109	16	L16 文型 1、練習 b,c	A2	やりとり	体調が悪そうな友人に、「どうしたんですか」など短い簡単な言葉で声をかけることができる。	487	社交的なやりとりをする	健康
110	16	L16 本文 1,2、練習 b,c	A2	やりとり	ときどきくり返しや説明を求めることができれば、病院などで、どこがどのくらい痛いかなどの簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。	428	体験する／受ける	健康
111	16	L16 本文 1	A1	やりとり	病院で「初めてなんですが」「保険証はありますか」のように、簡単な言葉で受付をすることができる。			
112	16	L16 本文 3	A1	受容	ゆっくりとはっきりと話されれば、病院での会計や、処方箋についての指示を聞いて理解することができる。			
113	16	L16 文型 1、練習 a	A1	やりとり	友人に、髪型やファッションなど、気が付いたことを話題にして、「髪を切ったんですか」など、短い簡単な言葉で声をかけることができる。			
114	17	L17 文型 1、練習 a	A1	やりとり	新しく入った同僚やクラスメートなどに、何語が話せるかたずねたり、答えたりすることができる。	412	情報交換する	人との関係
115	17	L17 文型 3、練習 b,c L34 文型 1、練習 a、 友達と話そう	A2	産出	子供時代の習い事や学校生活などについて、短い簡単な言葉で友人に話すことができる。	19	経験や物語を語る	生活と人生
116	17	L17 文型 3、練習 b,c	A2	産出	異文化体験の出来事について、短い簡単な言葉で友人に語るすることができる。	20	経験や物語を語る	言語と文化
117	17	L17 本文 1	A2	受容	店に貼り出している求人広告などの短い簡単なテキストを見て、時給や勤務時間など、必要な情報を探し出すことができる。	138	必要な情報を探し出す	仕事と職業

118	17	L17 文型 3、練習 b,c	A2	やりとり	友人と、お互いの異文化体験などについて、短い簡単な言葉でコメントや質問をしたり、答えたりすることができる。	254	インフォーマルな 場面でやり とりをする	言語と 文化
119	17	L17 文型 6	A2	やりとり	博物館や美術館などで、写真撮影や飲食など禁止されていることや、その理由を短い簡単な言葉で友人に伝えたり、質問したりすることができる。	515	情報交換す る	自由時 間と 娯楽
120	17	L17 文型 3、練習 b,c	A2	やりとり	これから行こうと思っている旅行先について、友人に、そこに行ったことがあるか、どんなところかなど、短い簡単な言葉で質問したり、質問に答えたりすることができる。	518	情報交換す る	旅行と 交通
121	17	L17 本文 2,3、文型 3,5	A2	やりとり	ときどきくり返しや説明を求められることができれば、仕事の面接試験などで、経歴や条件などの簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。	426	インフォー ムする ／受ける	仕事と 職業
122	17	L17 文型 6、本文 3	A1	受容	ゆっくりとはっきりと話されれば、施設などの使い方やルールについて、簡単な説明を聞いて理解できる。			
123	18	L18 練習 a、本文 1、 チャレンジ	A1	やりとり	週末暇かどうか友人にたずねたり、答えたりすることができる。	391	情報交換す る	自由時 間と 娯楽
124	18	L18 文型 1、練習 a、本文 1、 チャレンジ L24 本文 1,2、文型 1,2、 練習 f,g ☆ L31 本文 1	A1	やりとり	友人と会う日を決めるときに、次週のスケジュールを短い簡単な言葉で教え合うことができる。	396	情報交換す る	生活と 人生
125	18	L18 文型 1、練習 a、本文 1、 チャレンジ L24 本文 1,2、文型 1,2、 練習 f,g ☆ L31 本文 1	A1	やりとり	友人と食事会などの日程を決めるときに、いつがいいか、ごく簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	397	情報交換す る	生活と 人生
126	18	L18 文型 3	A1	やりとり	一緒に外食するとき、昼ごはんをどんな店で食べるか、友人にごく簡単な言葉でたずねたり答えたりすることができる。	409	情報交換す る	食生活
127	18	L18 文型 4,6	A1	やりとり	友人が今日授業を休むことを教師に伝えることができる。	413	情報交換す る	学校と 教育
128	18	L18 文型 1,2,3、練習 a、 チャレンジ、本文 1 L24 練習 f,g ☆、本文 1,2	A2	やりとり	友人と週末映画を見に行くために、見る映画や時間などについて、短い簡単な言葉で話し合うことができる。	247	インフォーマルな 場面でやり とりをする	自由時 間と 娯楽
129	18	L18 文型 1,2,3、練習 a、 チャレンジ、本文 1 L24 練習 f,g ☆、本文 1,2	A2	やりとり	友人と週末サイクリングに行くために、行き先や待ち合わせ時間などについて、短い簡単な言葉で話し合うことができる。	248	インフォーマルな 場面でやり とりをする	自由時 間と 娯楽
130	18	L18 文型 1,2,3、練習 a、 チャレンジ、本文 1 L24 文型 1,5、練習 f,g ☆、 本文 1,2 L31 本文 1	A2	やりとり	友人を誘うために、イベントの日時を伝え、一緒に行くかどうか、短い簡単な言葉でたずねたり、誘いに答えたりすることができる。	549	インフォーマルな 場面でやり とりをする	自由時 間と 娯楽
131	18	L18 文型 1,2,3、練習 a、 チャレンジ、本文 1 L24 練習 f,g ☆、本文 1,2	A2	やりとり	友人と外出や旅行をするために、行き先や日程などについて、短い簡単な言葉で話し合うことができる。	251	インフォーマルな 場面でやり とりをする	旅行と 交通
132	18	L18 文型 5、本文 1	A1	やりとり	友人と外出や旅行をする前に、簡単な言葉で天気や暑いかなどをたずねたり、予想して答えたりすることができる。			
133	18	L18 本文 1	A1	受容	天気予報を見たり聞いたりして、外出先の天気について理解することができる。			
134	18	L18 文型 4、練習 b	A1	やりとり	友人に、テレビや雑誌で得た情報を簡単な言葉で伝え、話を始めたり、誘ったりすることができる。			

135	18	L18 文型 6、練習 c	A1	やりとり	友人とのおしゃべりで、友人がこれから行く場所について、他の人から聞いた情報を簡単な言葉で伝えることができる。				
文化初級日本語改訂版 テキスト II									
136	19	L19 文型 1、練習 a	A1	やりとり	店員に、「着てみてもいいですか」などの覚えた表現を使って、試着できるかたずね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	345	店や公共機関でやりとりをする	買い物	
137	19	L19 文型 6、本文 3、練習 f	A2	やりとり	店に電話をして、道順や目印などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	323	店や公共機関でやりとりをする	旅行と交通	
138	19	L19 文型 6、本文 3、練習 f	A2	やりとり	デパートなどの店員に、買いたい物の売り場がどこにあるかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	325	店や公共機関でやりとりをする	買い物	
139	19	L19 文型 5、練習 e	A2	やりとり	パーティー会場などで、離れた場所にいる人を特定するために、その人の位置や特徴などについて、友人に短い簡単な言葉で説明や質問をしたり、質問に答えたりすることができる。	514	情報交換する	自分と家族	
140	19	L19 文型 6、本文 3、練習 f	A2	やりとり	道に迷ったとき、目的地への行き方について、短い簡単な言葉で人に質問したり、説明したりすることができる。	373	情報交換する	旅行と交通	
141	19	L19 文型 3、練習 c、本文 1	A1	やりとり	店などで落とし物をしたとき、自分が紛失した物について簡単な言葉で説明したり、質問に答えたりすることができる。				
142	19	L19 練習 g	A2	受容	道で、目的地への行き方についての簡単な説明を聞いて、理解することができる。				
143	20	L20 文型 3	A2	産出	朝のジョギングなど、自分の健康法について、短い簡単な言葉で友人に話すことができる。	15	経験や物語を語る	健康	
144	20	L20 本文 1,2,3、文型 1,2、練習 b	A2	やりとり	学校で、自分の進学希望について話したり、進学先についてアドバイスをもらったりして、自分の進路について簡単な言葉で教員と相談することができる。				
145	20	L20 文型 7、練習 e	A2	やりとり	友人に誘われたとき、簡単な言葉で用事があることを伝え、断ることができる。				
146	20	L20 文型 7 L21 参考、文型 4	A2	やりとり	友人とのおしゃべりで、学校や家庭のルールについて、簡単な言葉でたずねたり、説明したりすることができる。				
147	21	L21 練習 a	A1	やりとり	来客前に部屋を片づけるのを手伝うとき、物をどこにしまうか、友人に短い簡単な言葉でたずね、簡単な指示を聞いて対応することができる。	284	共同作業中にやりとりをする	住まいと住環境	
148	21	L21 練習 a	A1	やりとり	職場で、コピーを何枚とるかなど、具体的で基本的な事務作業について、短い簡単な言葉でたずね、ゆっくりとはっきりと話されれば、ごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	286	共同作業中にやりとりをする	仕事と職業	
149	21	L21 文型 5、練習 c	A2	産出	電子辞書など、新しく買った物について、短い簡単な言葉で友人に話すことができる。	16	経験や物語を語る	買い物	
150	21	L21 文型 3,4、練習 b ☆	A2	やりとり	これから旅行に行く友人に、自分の経験や、気をつけた方がいいことについて、短い簡単な言葉で説明したり、質問に答えたりすることができる。	519	情報交換する	旅行と交通	
151	21	L21 本文 2	A1	やりとり	ホームステイや訪問のとき、初めて会った人に、「お世話になります」のように簡単な言葉で挨拶することができる。				

152	21	L21 本文 2	A1	やりとり	ホームステイや訪問のとき、「これは～です。召し上がってください」のように、ごく簡単な言葉で説明しながら、手土産などの贈り物を渡すことができる。			
153	21	L21 本文 1	A2	受容	ホームステイする際のマナーについて、簡単な言葉で書かれた文章を読んで、内容を理解することができる。			
154	21	L21 文型 5、練習 c	A2	産出	友人に、自分の物や写真を見せながら、どこで買った物か、いつ撮った写真かなど、短い簡単な言葉で説明することができる。			
155	21	L21 友達と話そう	A2	やりとり	友人とのおしゃべりで、ホームステイの経験の有無を、感想や理由とともに簡単な言葉で話さすることができる。			
156	22	L22 練習 a、文型 1,2,3 L22 本文 1	A1	やりとり	友人と一緒に買い物をしているとき、「かわいい」「ほしいな」など、短い簡単な言葉で感想を言うことができる。	215	社交的なやりとりをする	買い物
157	22	L22 練習 b	A1	やりとり	薬局で薬剤師に、欲しい薬の種類や箱の大きさなどを聞かれたとき、短い簡単な言葉で答えることができる。	346	店や公共機関でやりとりをする	買い物
158	22	L22 文型 4、本文 1,2	A1	やりとり	友人とお土産の買い物に出かけたときに、誰に何をかうかなどを短い簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	405	情報交換する	買い物
159	22	L22 文型 3、本文 1,2	A1	やりとり	次の誕生日に何が欲しいか、友人にたずねたり、答えたりすることができる。	410	情報交換する	人との関係
160	22	L22 練習 c	A2	やりとり	雑誌やサイトなどを見ている友人に、「何を見ているんですか」「何か買うんですか」など、短い簡単な言葉で話しかけることができる。	488	社交的なやりとりをする	買い物
161	22	L22 友達と話そう	A2	やりとり	友人に持ち物や服などをほめられたとき、「古い着物をスカートにしたんです」「父にもらったんです」など、短い簡単な言葉でエピソードを話すことができる。	494	社交的なやりとりをする	人との関係
162	22	L22 本文 1,2、練習 d	A2	やりとり	友人と、共通の友人の誕生日プレゼントを買うために、買う物や予算などについて、短い簡単な言葉で話し合うことができる。	253	インフォーマルな場面でやりとりをする	人との関係
163	22	L22 文型 1、練習 a、 本文 1	A1	やりとり	友人と一緒に買い物をしているとき、商品を見て「おいしそう」など、短い簡単な言葉で感想を言うことができる。			
164	22	L22 文型 2、練習 a	A1	やりとり	近くにいる人の持ち物などの様子を見て、「ボタンが取れそうですよ」など、短い簡単な言葉で伝えることができる。			
165	22	L22 プレゼントをあげる時	A1	やりとり	誕生日に「お誕生日おめでとうございます」など、お祝いの言葉を言って、友人にプレゼントをあげたり、お礼を言って受け取ったりすることができる。			
166	23	L23 文型 2、友達と話そう	A2	産出	趣味やスポーツなど、新しいことを始めたきっかけや、それを始めてからできるようになったことなどについて、短い簡単な言葉で友人に語るすることができる。	462	経験や物語を語る	生活と人生
167	23	L23 文型 1,2,3、 友達と話そう	A1	やりとり	自分自身の生活習慣や社会の変化について、どのように変わったのか、短い簡単な言葉で友人と話すことができる。			
168	24	L24 練習 e	A2	やりとり	友人にプレゼントをもらったとき、「素敵ですね。大切にします」など、自分の気持ちを交えて、短い簡単な言葉でお礼を言うことができる。	495	社交的なやりとりをする	人との関係

169	25	L25 本文 1、文型 1、 練習 b	A1	やりとり	ホテルの部屋などで、電気がつかない、水が出ないなど、設備の不具合について簡単な言葉で説明することができる。			
170	25	L25 練習 a	A1	産出	友人に、自分が持っている物や、便利だと思える物について、その使い方を実物を見せながら、簡単な言葉で説明することができる。			
171	25	L25 本文 1、会話 1 L28 本文 2	A1	やりとり	帰宅したとき、「ただいま」「おかえり」のように挨拶することができる。			
172	26	L26 文型 1、練習 a	A1	やりとり	友人や同僚といるとき、住居や物の状態を見て、「床がぬれているので、気をつけてください」など、簡単な言葉で注意を促すことができる。			
173	26	L26 本文 2	A2	受容	引越すするとき、必要な手続きや荷造りについて、簡単に書かれたチェックリストを読んで、理解することができる。			
174	26	L26 文型 2,3、 友達と話そう	A2	やりとり	友人と、旅行や地震などの前に準備しておくべきことについて、簡単な言葉でたずねたり、答えたりできる。			
175	27	L27 本文 3	A2	受容	面接のマナーについて、簡単に書かれた文章を読んで、注意すべきことを理解することができる。			
176	27	L27 文型 1,2、本文 1	A2	やりとり	友人と、オープンキャンパスの日程を見ながら、自分たちの都合を考慮して、短い簡単な言葉で話し合い、いつ行くか決めることができる。			
177	27	L27 文型 3、練習 a、 本文 2	A2	やりとり	友人や同僚からの誘いや依頼などに対して、「ごめん。これから晩ごはんを作るところなんだ」など、簡単な言葉で婉曲に断ることができる。			
178	28	L28 文型 1、練習 a	A1	やりとり	友人に何かを手伝ってもらったとき、相手にしてもらったことについて、簡単な言葉でお礼を述べるることができる。			
179	28	L28 文型 1,3、練習 c	A2	産出	家族や友人に何かをしてもらってうれしかった経験について、友人に、簡単な言葉で語るすることができる。			
180	29	L29 文型 3,4、練習 b、 本文 2	A2	やりとり	目上の人に何かもらったり、してもらったとき、「教えてくださってありがとうございます」など、丁寧な言葉でお礼を言うことができる。			
181	29	L29 文型 3,4、本文 1,2	A2	産出	目上の人に何かもらったり、してもらってうれしかった経験について、友人や同僚に語るすることができる。			
182	29	L29 文型 5、練習 c	A2	やりとり	友人や同僚に、健康法や学習法など、自分が日頃注意していることを、簡単な言葉でたずねたり、話したりできる。			
183	30	L30 本文 3	A1	やりとり	立食パーティーなどで、「コーヒー飲みますか」など簡単な言葉で友人に飲み物を勧めたり、「はい、お願いします」「いいえ、結構です」などと答えたりすることができる。	218	社交的なやりとりをする	食生活
184	30	L30 本文 3、文型 2、 練習 b	A2	やりとり	会食やパーティーなどで、飲み物や食べ物を勧められたとき、短い簡単な言葉でコメントを加えて応じたり、断ったりすることができる。	490	社交的なやりとりをする	食生活
185	30	L30 文型 4	A2	やりとり	出張先のオフィスなどで使いたいものや借りたいものがあるとき、短い簡単な言葉で借りてもいいか質問したり、質問に対応したりすることができる。	510	共同作業中にやりとりをする	言語と文化

186	30	L30 本文 2	A1	やりとり	予約したレストランなどで、名前を言って案内を受けることができる。			
187	30	L30 本文 2	A1	やりとり	レストランなどで、予約した客の名前を確認し、席に案内することができる。			
188	30	L30 本文 1	A2	やりとり	ゆっくりとはっきりと話されれば、電話で、レストランなどの予約をすることができる。			
189	30	L30 本文 1	A2	やりとり	ゆっくりとはっきりと話されれば、名前や電話番号、人数などを聞いて、レストランなどの予約を受けることができる。			
190	30	L30 本文 2	A2	やりとり	初対面の人同士を仲介して、互いの趣味や仕事などについて説明し、簡単に紹介することができる。			
191	30	L30 本文 2	A2	やりとり	レストランで、初対面の人や目上の人とメニューを見ながら、「苦手なものはありますか」など、簡単な言葉で相手に配慮して、何を注文するか相談することができる。			
192	30	L30 本文 3、文型 1,2,3	A2	やりとり	外食をしたとき、初対面の人や目上の人に、「もう少し召し上がりませんか」など、丁寧な言葉で食べ物や飲み物を勧めたり、受け取ったりできる。			
193	30	L30 本文 3	A2	やりとり	食事会などの後で、初対面の人や目上の人に、簡単な感想とともに丁寧な言葉でお礼を言って、別れることができる。			
194	30	L30 文型 1、練習 a ☆	A2	やりとり	初対面の人や目上の人と話するとき、丁寧な言葉で趣味や休日について、たずねることができる。			
195	30	L30 文型 1,2、練習 b	A2	やりとり	レストランなどで、客に、「どうぞおかけください」など、丁寧な言葉で席やメニューなどを勧めることができる。			
196	30	L30 文型 3	A2	産出	会社などで、丁寧な言葉遣いで自己紹介することができる。			
197	30	L30 文型 3、練習 c	A2	やりとり	初対面の人や目上の人に、「お手伝いしましょうか」など、丁寧な言葉で手助けを申し出ることができる。			
198	30	L30 文型 4、練習 d、本文 3	A2	やりとり	初対面の人や目上の人に、「写真を撮っていただけませんか」など、丁寧な言葉で依頼したり、依頼を受けたりすることができる。			
199	31	L31 謝り方、練習 c	A2	やりとり	待ち合わせの時間に遅れたり、約束を守れなかったりしたとき、友人に短い簡単な言葉で理由を言って謝ることができる。	483	社交的なやりとりをする	自由時間と娯楽
200	31	L31 本文 3	A2	やりとり	お祭りなどのイベントに行った後、何をしたか、どうだったかなど、出来事や感想を具体的に友人に話すことができる。			
201	31	L31 文型 5、練習 d,e	A2	やりとり	友人とのおしゃべりで、何かをされて嫌だった経験について、簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。			
202	32	L32 文型 1、練習 a、本文 1	A2	産出	建物や商品などについて、いつ頃作られたかなど、簡単な言葉で友人に説明することができる。			
203	32	L32 文型 1、練習 a	A2	産出	ある場所について、そこで使われている言語や特産物などを、簡単な言葉で友人に説明することができる。			
204	32	L32 文型 1、本文 1,2	A2	受容	工場見学などのとき、実物や映像などを見ながら、ゆっくりとはっきりと話されれば、大まかな内容を理解することができる。			

205	33	L33 本文 1,2	A2	受容	テレビのインタビュー番組などで、ゆっくりとはっきりと話されていれば、大まかな内容を理解することができる。			
206	33	L33 文型 2、練習 a、友達と話そう	A2	産出	国で、一般的に教師や親が学生や子供に何をさせるか、簡単な言葉で友人に説明することができる。			
207	33	L33 文型 3、練習 b ☆	A2	やりとり	友人や同僚と話するとき、アドバイスを求めたり、「こうしてみたらどうですか」と簡単な言葉でアドバイスすることができる。			
208	34	L34 文型 2、練習 b、チャレンジ	A2	やりとり	ホテルのフロントなどで、ツアーを紹介してもらうために、興味がある活動や、行きたい観光地名を言うことができる。	513	店や公共機関でやりとりをする	旅行と交通
209	34	L34 文型 2、練習 b、チャレンジ	A2	やりとり	旅行を予定している観光地について、そこに行ったことがある友人に、どんな印象を持ったか、どんな交通手段で行ったかなどの簡単な情報を、短い簡単な言葉で質問したり、質問に答えたりすることができる。	520	情報交換する	旅行と交通
210	34	L34 本文 1	A1	やりとり	自宅に来客があったとき、玄関口で「いらっしゃい」「どうぞ上がって」のように、簡単な言葉で客を迎えることができる。			
211	34	L34 本文 1	A1	やりとり	試験に合格した人や婚約した人などに、「おめでとう」と、簡単にお祝いを言うことができる。			
212	34	L34 本文 2	A1	やりとり	お祝いの場で、ごく簡単な言葉で乾杯を促したり、乾杯の音頭をとったりできる。			
213	34	L34 本文 1	A2	やりとり	目上の人や家に招待されたとき、「招待してくださってありがとうございます」など、丁寧にお礼や挨拶を言うことができる。			
214	34	L34 文型 1、練習 a、友達と話そう、本文 1	A2	やりとり	今まで家庭や学校で、両親や教師にさせられて大変だった経験について、友人と話することができる。			
215	34	L34 文型 2、練習 b、チャレンジ	A2	やりとり	よく知っている場所であれば、おすすめの観光地について、相手の希望を聞きながら、簡単な言葉でアドバイスすることができる。			
216	34	L34 文型 2、練習 b、チャレンジ	A2	やりとり	旅行を計画しているとき、その場所をよく知っている人に、自分の希望を伝えながら、場所や交通手段などについて、簡単な言葉でアドバイスを求めることができる。			
217	34	L34 文型 3、練習 c	A2	やりとり	パーティーなどを始める前に、飲み物や食べ物の用意ができていないか、簡単な言葉で確認したり、答えたりすることができる。			
218	34	L34 本文 2	A2	やりとり	人から来たメールの内容を読み、その場にいる人に、簡単な言葉で伝えることができる。			